

社会保障制度とは

ライフサイクルと社会保障

社会保障制度の体系

主な社会保険の特徴

生活保護(1)

生活保護(2)

障害者の状況

資料1,2出所:「厚労省白書」(平成24年版)

1. 社会保障制度とは・・・

社会保障制度とは、「すべての国民は、健康で文化的な最低限度の生活を営む権利を有する。国は、すべての生活場面について、社会福祉、社会保障、及び公衆衛生の向上及び推進に努めなければならない」という憲法第25条の「国民の生存権」が原点となっています。

また、社会保障の大きな目的は「生活の安定・生活の保障」であり、個人の責任や自助努力では対応しがたい不測の事態に対して、社会保障制度の仕組みを通じて生活を保障し、安定した生活へと導くことを主眼としていると言えます。

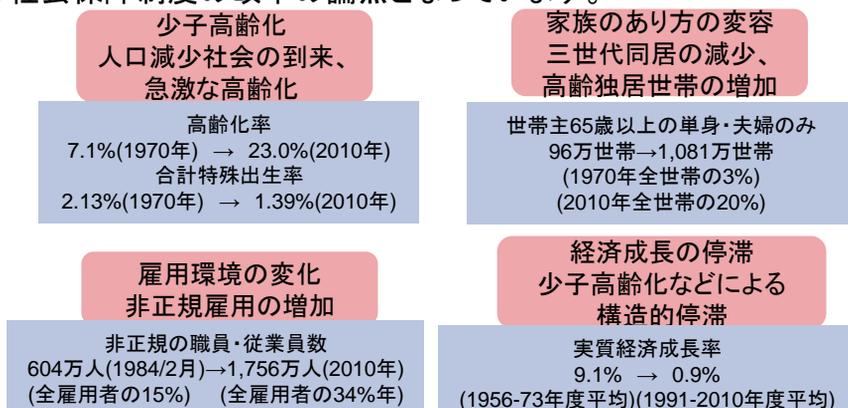


2. 60年前の制度発足時との違い

日本の社会保障制度の特徴は、自助・共助・公助のバランス(上図)を考慮して構築されていると言ってよいのですが、初期に制度設計された1950～60年代の時代と大きく変わった点が4つ挙げられます。これらが、今後の社会保障制度の改革の論点となっています。

一つは、人口減少社会の到来と急激な高齢化(2009年から減少)、そして少子化です。

二つ目は非正規雇用やニートの増加、三つ目は高齢者独居(ひとり暮らし)の増加、三世帯同居の減少などによる核家族化、四つ目は、経済成長の停滞・鈍化にあります。(右図参照)



3. 社会保障の給付額増加

社会保障をするには、何といても財源が必要となります。現在、その52%は国民の「保険料」で賄われており、残りを税金(36%)他で負担しています。保険の種類として国民が納めています、「年金保険」や「医療保険」、「介護保険」等があります。また、給付(支出)のうち、51%は年金ですが、今後は団塊の世代の高齢化とともに「介護」給付の伸び率が高まることが予測されています。

【社会保障制度における給付と負担の割合】

【給付】			
年金 51% (52.4兆円)	医療 31% (32.3兆円)	介護 7% (7.5)	福祉・子育て他11% (11.2)
【負担】			
社会保険料52% (57.8兆円)		税金36% (40.1兆円)	
個人による拠出27%	雇い主による拠出25%	国税 26%	地方税
			積立金の運用収入等13% (14.2兆円)

出所:社会保障統計年鑑平成25年度版

●お問合せはこちらまで

info@y-welfare.com

Welfare

北村 社会福祉士事務所(北村 弘之)
〒226-0016 横浜市緑区霧が丘3丁目7-7
TEL:045-924-1777 http://www.y-welfare.com